

各 位

2023年2月9日  
株式会社リットーミュージック

幻の未発表原稿 40 枚を完全収録！  
手塚治虫の初期名作『魔法屋敷』の決定版が発売に



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）内で文芸・カルチャー関連を扱う出版レーベル立東舎は、『魔法屋敷』（著 手塚治虫）を2023年2月10日に発売します。

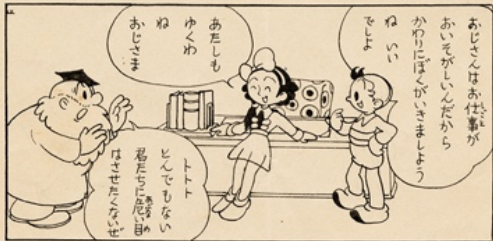
2022年8月に「読売新聞」社会面（1面）トップにて報じられ話題となった、藤子不二雄<sup>Ⓐ</sup>氏が大切に保管していた原稿、それが『魔法屋敷』の未発表原稿でした。氏が生涯手放すことなく手元に置いていたこの原稿の存在は、『まんが道』の手塚治虫と藤子不二雄の交流エピソードを実証するものとして大きな話題となりました。

本書は三玉書房版（1951年）の『魔法屋敷』を底本に初復刻、この未発表原稿40枚すべてを巻末に掲載した決定版となっています。

では、この未発表原稿はなぜ描かれたのか。そして、どうして藤子不二雄<sup>Ⓐ</sup>氏が所有していたのか。そのミステリーの推理も解題でしっかりと行ない、漫画史上この上なく貴重かつ重要な資料の価値を明らかにしています。

これまで描き版（原稿をもとに職人の手を経て描き起こされた製版法）でしか知り得なかった、  
執筆時の手塚自身の筆致と巧みな構成力をぜひご堪能ください。





## 『魔法屋敷』 解題

### ■「魔法屋敷」について

手塚治虫の初期作品のひとつ「魔法屋敷」は、「地底国の怪人」と並行して執筆され、いずれも一九四八年二月二十日に不二書房から不二長編漫画書シリーズのラインナップで発行された作品である。執筆時の手塚は十九歳。

これらはB6判の描き下ろし漫画で、俗に「赤本（赤本マンガ）」と呼ばれていたものだ。当時の漫画本のほとんどが、写真製版よりも安価な「描き版」といわれる一種の複写製版

で作成され、その仕上がりは写真製版とは比べものにならない品質のものだった。「描き版」で製版された漫画のなかには、ひどい時には眉や耳、手足を描き忘れたまま印刷されたものもある。その印刷工程については後述するが、手塚の初期長編は、一九四九年発行の「有尾人」までが描き版で、そのため手塚による描線とは大きく異なっている。

「魔法屋敷」は、手塚の作品にしばしば登場する魔法を取り上げた物語で、科学信仰と相反する魔法・魔術への対立を描かれた作品である。これは同じ頃に描かれた

「キングコング」（一九四七年）や「妖怪探偵団」（一九四八年）でも見られ、魔術や呪術、仙術の類は、その後の作品、具体的には「ぼくらのそんごう」（一九五二年）や「おれは猿飛だ!」（一九六〇年）「三つ目がとおる」（一九七四年）、絶筆となった「ネオ・フアウスト」（一九八八年）などでも取り上げられた。いずれも変身メタモルフォーゼの場面が登場する手塚が好んだ主題である。

「魔法屋敷」は、これまでオランダ出版を除けば本書を含め八度出版されたが、ここではそのうち手塚の存命時に復刻された三冊を紹介しておく。いずれも不二書房版を底本としながらも、各々で差異がある。以下、各版について簡単にふれておきたい。

不二書房版（以下、元版と示す）の発行から四年八月を経た一九五二年の十月十日



図① 不二書房版裏表紙。ゼビオ書と

元版に新規原稿を追加して出版されたのが、本書（立東舎版）が底本にした三玉書房版である。まえがき（本書「ページ」）には、原稿が見つかっので出せなくなった旨が書かれているが、新規ページ以外は元版から版を起こした。描き版の描き版で、見つかったとされる原稿は使われていない。なお、ここで新たに描き下ろされたのが、表紙と裏表紙（図①）を見返し、ケンが原本を見つける場面とまえがき、目次、目次裏

### ■ 書誌情報

書名：魔法屋敷

著者：手塚治虫

定価：定価 4,950 円（本体 4,500 円＋税 10%）

発売日：2023 年 2 月 10 日

発行：立東舎／発売：リットーミュージック

商品情報ページ <http://rittorsha.jp/items/22317405.html>

### 【CONTENTS】

『魔法屋敷』（三玉書房版）

『魔法屋敷』未発表原稿

解題 濱田高志

### PROFILE

手塚 治虫（てづか おさむ）

1928 年、大阪府豊中市生まれ。兵庫県宝塚市で少年時代を過ごす。46 年マンガ家としてデビュー。翌年発表した「新寶島」等のストーリーマンガにより、戦後マンガ界に新生面を拓く。62 年アニメーション作家としてデビュー。翌年から放映したテレビアニメ「鉄腕アトム」により、テレビアニメブームをまきおこす。89 年 2 月 9 日没。

【立東舎】 <http://rittorsha.jp/>

立東舎は文芸、マンガほか、さまざまな分野のポップカルチャーを紹介する出版活動を展開中。「乙女の本棚」などの好評シリーズのほか、手塚治虫、谷ゆき子らの幻のマンガの復刻などで感度の高い読者の話題を集めている出版ブランドです。

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、T シャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>  
株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: [pr@rittor-music.co.jp](mailto:pr@rittor-music.co.jp)